

目 次

はしがき

プロローグ ━━━━━━━━ 1

第1章 問題の所在と本書の構成 ━━━━━━ 5

- | | |
|--------------------------|----|
| 第1節 私的年金をめぐる現状についての基本的認識 | 5 |
| 第2節 個人年金の認識や理解への率直な疑問 | 10 |
| 第3節 本書の構成 | 18 |

第2章 個人年金保険の概要 ━━━━━━ 23

- | | |
|------------------|----|
| 第1節 いわゆる個人年金の諸相 | 23 |
| 第2節 個人年金保険の商品内容 | 27 |
| 第3節 個人年金保険の普及動向 | 46 |
| 第4節 個人年金保険の税務取扱 | 57 |
| [補説] 諸外国の私的年金の動向 | 60 |

第3章 個人年金保険の商品性とその位相 ━━━━━━ 65

- | | |
|----------------------------|----|
| 第1節 緒 説 | 65 |
| 第2節 個人年金保険の商品性 | 68 |
| 第3節 個人年金保険の位相 | 77 |
| 第4節 年金領域における貯蓄類似性——まとめに代えて | 80 |

第4章 「長生きリスク」と終身年金——————— 83

第1節 緒 説	83
第2節 終身年金の過小需要と逆選択論	84
第3節 個人年金保険の仕組みと年金種類	86
第4節 年金種類の価格面での比較	90
第5節 年金政策論への示唆——まとめに代えて	94

第5章 個人年金保険／私的年金に対する税制優遇の 論拠——————— 99

第1節 緒 説	99
第2節 現行の個人年金保険料控除の位置づけ	100
第3節 税制優遇の論拠(1)——公的年金との関係	103
第4節 税制優遇の論拠(2) ——個人年金保険の位置づけに即した説明の可能性	107
第5節 公／私の切断と、保険／貯蓄の切断 ——まとめに代えて	119

第6章 個人年金保険／私的年金に対する税制優遇の 要件と方法——————— 127

第1節 緒 説	127
第2節 税制優遇の対象(1)——公的年金との関係で	128
第3節 税制優遇の対象(2)——具体的要件の設計	134
第4節 税制優遇の方法なしし手法	146
第5節 実務的な諸問題	152
第6節 私的年金にかかる政策の特徴——まとめに代えて	160

第7章 トンチン型終身年金の今日的な意義	163
第1節 緒 説	163
第2節 終身年金のその後の曲折	164
第3節 トンチン型の終身年金の今日的な意義	169
第4節 認知症と終身年金	174
終 章 総括に代えて ——個人年金保険と日本の社会保障	179
あとがき	
索 引	